

令和 5 年度 学校経営環境分析書

白岳中学校区 校番 3 学校名 白岳中学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設や工場・商店街等が多く、生活科・社会科や総合的な学習の時間等における実地見学に適している。 ○総合体育館、広公園と隣接しているので、クラブ活動等に活用できる。 ○PTAが協力的であり、学校行事等では積極的に支援する。 ○小中の連携体制が整っている。 ○校区内に社会体育施設等が充実しており、社会体育に参加している生徒が多い。 	<p>S (強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育活動に前向きに取り組む教職員が多い。組織力は高い。 ○校区が1小学校1中学校であるため連携がとりやすく、小中一貫教育の効果が期待できる。 ○中学校区に食育を推進する栄養教諭が配置されているため、食に関する指導が充実している。 ○外国籍生徒が多く、生徒同士が互いに認め合いながら、交流する機会を多くもてる。 ○防災教育に全クラスが取り組み、マイ・タイムラインの活用を図っている。 	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教務部を中心に、学力の向上対策を進める。 ○小中一貫教育の、さらなる推進を図る。 ○地域の特徴を取り入れ、人材の活用による「キャリア教育」「総合的な学習の時間」の充実を図る。 ○体育科、食育、健康教育の継続的な推進を図る。 ○ICTを活用した授業改善や働き方改革を、進める。
	<p>T (阻害的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校区内には、自然が少なく、理科や総合的な学習の時間等における自然を生かした体験的な活動が制限される。 ○生徒の転出入や外国籍生徒が多く、広(白岳)を郷土としてとらえにくい傾向がある。 ○保護者同士のつながり、地域とのつながりが、希薄な面がある。 ○JR広駅、国道などがあり、交通量が多く、登下校での安全安心面での阻害要因になっている。 ○商店街やスーパーマーケット、コンビニエンスストア、ゲームセンター等校区に商業施設が多数あり、生徒指導上の課題もある。 	<p>W (弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力調査の結果から、学力は向上しているが、全体的に二極化しており、基礎学力が低い生徒が見られる。 ○運動部に所属する生徒とそうでないとの間で、体力の二極化している。 ○教室に入りにくい生徒、不登校傾向の生徒が、一定数いる。 ○メディアと接する時間が長い生徒が多い。 ○学年のまとまりは強いが、学年相互の連携がとりにくい実態がある。 ○特別教室、運動場、体育館などの使用が、制限される。 ○施設の老朽化が、激しい。 		<p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上と生徒指導の充実を図るために、教職員が同じスタンスで繰り返し指導していく。 ○「家庭学習の定着」「学習観レベルアップ講座」「学び方5」による自立的学習者の育成を行う。 ○主体的で深い学びを創造するために、ペア・グループ活動等を効果的に取り入れ、生徒の表現する力を向上させる。 ○学級活動を中心に、学習の基盤となる学級づくりを積極的に推進する。 ○配慮を要する生徒(特支・学びに困難さを抱える生徒・不登校)支援体制強化を図る。 ○小中一貫した生徒指導体制の確立を図る。 ○地域、保護者への情報発信を積極的に行い、地域、保護者の理解と協力を得る。

2 重点課題

- ① 3つの資質・能力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」)を育成する教育活動の展開(小中一貫教育のさらなる推進)
- ② 主体的で深い学びの推進(授業改善・基礎学力の定着・学習習慣づくり・ICTの活用)
- ③ 異年齢交流・学校行事・生徒会行事・学級活動を中心とした、互いのよさを認め合える集団づくりの推進
- ④ キャリア教育の推進
- ⑤ 健康教育・食育の推進(基本的生活習慣の確立・体力向上の取組)
- ⑥ 危機管理体制の構築(不祥事防止)
- ⑦ 「自分の命は自分で守る」防災教育の充実